

2018年度第1回町田市環境マネジメントシステム外部評価委員会

議事要旨

【日 時】2018年6月28日（木） 午後6時30分～午後8時30分

【場 所】市庁舎5階（5-3）

【出席者】

委 員：松波（委員長）、奥（職務代理）、斎藤、澤井、須永、斎藤、
多久島、小池、大橋、越智、藁澤

事 務 局：町田市環境資源部 水島、環境政策課 塩澤、川瀬、土志田
坂牧、香山、井上

コンサルタント：株式会社知識経営研究所

【傍聴者】なし

議題

1 外部評価の内容及びスケジュールの確認について

- 事務局から、第3回外部評価委員会までの議題及びスケジュールの確認を行った。
質疑なし

2 環境マネジメントシステムの実績報告について

- 事務局から、実績報告を行った。

松波委員：2017年度の実績報告書の評価基準、評価結果、目標等をみなさんのするどい目で見えていただき、一次評価をしていただきたい。それを第二回で議論する。質問、意見等があれば積極的にお願いしたい。

澤井委員：市長総括を全庁的にフィードバックするのはいつごろか。また市民等にはどういうルートでフィードバック（情報公開）されるのか。

事務局：第3回外部評価委員会の終了後、9月に市長総括を行う。その報告は年3回行われる省エネ対策会議で行う。2017年度の実績報告、市長総括は2018年の6月の省エネ対策会議で行った。市民等にはホームページで情報を公開している。

澤井委員：eラーニングの研修について、後期のeラーニングで速報的に市長総括や、もっと先進的な仕組み等を紹介したりできるのでないか。例えば昨年低い項目はこれで、あなたには何ができるのか等、スピード感を持って後期のeラーニングに取り入れたり活用してはどうか。

斎藤委員：学校のeラーニング研修の実施率が前年度より10%減の77%という結果となっているが、全体の母数はどれくらいか。市庁舎についてはCO₂が2015年度比で15%増となっている理由がよくわからなかった。ま

た、市庁舎の目標値92%の算出方法と115%（前述の15%増のこと）の算出方法は同じかどうかの説明をお願いしたい。

事務局：eラーニングについて、母数は全62校になる。62校中48校がeラーニングを実施しているので実施率が77%となっている。市庁舎のCO₂排出に関して、2015年度の温室効果ガス排出量を100として、目標値が92%、実績値が115%となり、同じ基準で算出をしている。市役所全体では2021年度までに2015年度比で6%以上削減することが目標となっている。部門別で見たときに、削減のポテンシャルを考慮して6%よりもっと削減できる部門、できない部門等がある。その中で市庁舎は8%という目標値にしている。市庁舎が2015年度比で15%増になってしまった理由について、灯油等の使用量に関しては、市庁舎へ車の所管換えがあり所管台数が増えたこと、ガソリンの使用料も増えたことが要因である。さらに電気使用量に関しては、電気が温室効果ガスの排出割合として7割を占めていること、電気としては使用量の増減があまりないが電気の契約会社の排出係数の変化により温室効果ガスの排出量が増えたことが増加要因となった。

斎藤委員：単純に言うと市庁舎はCO₂をたくさん出しているところから電気を買っているということか。

事務局：そのとおりである。背景としては市庁舎では毎年入札にて電力の契約相手方を決めているため、排出係数の大きい、小さいではなく価格優先の契約になる。また入札であるので毎年契約相手方が変わる可能性もある。

松波委員：資料には電気に関して東京電力の排出係数だけが載っているが、これを見ると排出係数が年々下がっているので、使用量が変わらなければ排出量も減っているはずだが、結果が違うのはなぜか。

事務局：資料には参考例として東京電力のみの排出係数を載せている。実際は年度途中で違う会社と契約していたのでその会社の排出係数との差が結果に出ている。

松波委員：排出係数が変わっただけで、使用量自体はあまり変わっていないということか。

事務局：そのとおりである。

小池委員：eラーニングについて、年2回の実施時期の設定理由を知りたい。夏を外せば学校等の実施率がもっと増えるのではないか。さらに年度で区切らなければ何度でもできるので周知等のメリットがあるのではないかと考えている。市庁舎だと一人一台パソコンが与えられていると思うが、学校だと教職員はパソコンに触れる機会が少ないのではないか。予算の絡みもあると思うが、パソコンの導入やパソコンができる人を配置する等すれば実施率を上げることができるのではないか。さらに実施したかどうかのわかるのであれば実施していない学校等に出張等で現地に出向いて説明をするなどフォローアップ等を考えてみてはどうか。

事務局：開催の時期、実施をしたかどうかの確認はしているが、実施していない場合

のフォローをしていないので実施率を上げる工夫を考えてみる。

eラーニングの実施時期の理由は、前年度の実績が出るのがこの時期（6月頃）で、それにあわせて同時期に環境推進員という各職場の環境配慮を行うリーダーの集合型研修をしている。その後環境推進員が自分の課で研修を行ったあとにeラーニングという流れになるので前期の実施は7月以降になっている。後期の実施は市長総括まで終わった後に1回というタイミングにしている。また市長総括については後期のeラーニングの問題にできる限り反映させている。

松波委員：市長総括を含めた外部評価結果について、現状でもeラーニングの問題に入っているということか。

事務局：そのとおりである。

奥委員：内部環境監査で不適合と指摘されている職場はいずれもセンターとか小中学校などの出先機関が多い。内容としては産業廃棄物等の表示がなかったり、マニフェストの運用が良くなかったり等である。これは法令遵守がなされていないということになり問題である。選ばれた出先機関でこれだけできていないのであれば、対象職場以外でもできていない可能性が高いと推測される。調査対象職場以外でも同じような職場がないか全庁的に調査をかけていただき、できていない職場に関しては早急に是正し、対策を講じるべき。監査結果を受けて、こうした案件こそ水平展開していくべきだと思うが、対応しているか。

事務局：監査結果から産業廃棄物等の運用が徹底されていなかったのも、昨年、今年と産業廃棄物を中心とした研修を実施した。さらに監査員に監査項目の中でも産業廃棄物等の運用をよく見るようにと指導をしたので、各施設の良くない運用状況が出てきた。また庁舎管理責任者にも集合研修を行い、全ての施設が法令に抵触しないように、力を入れて対策をしている。

奥委員：実績報告書の情報公開の部分について、実際に市民から何か意見が寄せられているか。

事務局：今のところ意見は届いていない。

松波委員：市の成果を公表しているのに、反応がないのはさびしい。監査結果、外部評価結果等はホームページの目立つところに出ているか。出ていないのであれば目立つところに表示してはどうか。

事務局：ホームページで公表はしているが、深い階層までいかないとたどり着けない等、見せ方に問題もある。今年度中にホームページの整理をし、見やすいところに表示できるよう努力したい。

奥委員：広報等をうまく使ってホームページに誘導してみてはどうか。

事務局：多くの市民に見ていただけるように改善したい。

松波委員：市長総括のタイミングはトップページに期間限定で表示したらどうか。

事務局：前向きに考えたい。

斉藤委員：廃棄物の再利用率が高まっているようだが、何が高まっているか、もう少し

詳細を教えてください。どういうものが増えて、どういうものが減ってという細かい情報があると評価がしやすくなる。

事務局：この件に関しては別途回答する。

斎藤委員：小中学校のCO₂の排出が増えたというが、空調機器（エアコン）をそんなに導入しているのか。

事務局：全校に導入する予定。複数年で何校かに分けて導入している。一校一教室というわけではない。そういった状況でCO₂排出量が増えている。

澤井委員：学校の内部環境監査は2周目に入ったときに1周目の監査時とどんな変化があるか見てみるといい。改善されているか、更によくなっているか、人も変わって悪化しているか等、変化が見られる。

事務局：内部環境監査はまだ2周目に入っていない。学校に関して近年内部監査の対象校を増やしている（5校→10校）が、今後も継続する予定。

松波委員：他に何かご意見、ご質問はあるか。1回目の評価のあと、いろいろ出てくるということもあるので、本日はこれまでにしたい

現地確認の日程について

松波委員：事務局で、設定がしやすい職場、こういうところを見ていただきたい等、推奨職場はあるか。

事務局：さるびあ図書館、生涯学習センター、経営改革室を候補として考えている。さるびあ図書館は図書館の中でエコオフィスチェックシートの評価が低く、生涯学習センターは、紙の使用量が多い。経営改革室は市庁舎で、モニターやプロジェクター等を活用しペーパーレスの取り組みをしている等が候補理由である。

松波委員：委員の方々でここを見にいきたいという希望はあるか。

須永委員：現地確認の実施の有無はどうやって決めるのか。必ず行くのか、行ったほうがいいのかどうか。

松波委員：評価するのに情報が十分であるならば行かなくてもよいが、実際見たほうが評価しやすいと思うので、なるべく多くの委員が行けるほうがよい。また市庁舎は様々な環境配慮の工夫をしているので、市民の方々に知ってもらいたい機会であると思う。

小池委員：現地確認に行くときは専門家等にいてほしい。見所、ポイントがわからないのでお願いしたい。

松波委員：どの候補日も学識者が入っているので安心していただきたい。

事務局：どの候補日も事務局が同行し、各職場では現場の職員にも説明してもらうので安心していただきたい。また現地確認の方法については市庁舎を見る場合は市庁舎に集合し対象職場を見学、出先機関を見る場合は市庁舎に集合し車で移動し対象職場を見学、車で市庁舎に戻り解散という流れになる。

コンサル：現地確認は相手があつてのことなので、事務局に委ねることはやむを得ない

面もあるが、ここは第三者的な外部評価であるので、事務局にどこがいいかを尋ねるよりも、各部における共通の取り組み状況を参考に成績の悪いところを見に行ったり、逆に成績がよいところが本当に良いところなのか等、そういった視点で選ぶのがいいのではないか。また本当に成績が良い職場であるのなら全庁の参考になる。

松波委員：評価がオール5の所がいくつかあるので、本当かどうかの確認を試みたり、2点台の評価のあるところをいれていただくと評価のしがいがあるのではないか。

松波委員：他に何かご意見、ご質問はあるか。ないようなので、現地確認をするということでもよろしいか。7/10（火）の午前、7/12（木）の午後、7/13（金）の午前が候補となる。相手のあることなので最終的には事務局に決めていただくということでもよろしいか。

事務局：日程、組み合わせ、どの施設を見に行くかという連絡を近日中に連絡する。

3 その他

- 事務局から、書類の提出方法等、事務連絡を行った。